

<p>理念</p>	<p>「得意」を育み未来をつくる お子様に合わせて『今』必要なことを スモールステップで 意図的に個別的に 長期的見通しを持って お子様も保護者様も安心できる環境をつくる</p>		
<p>支援方針</p>	<p>「感覚と運動の高次化理論」をベースに、認知(興味・関心、理解の力)、姿勢・運動(感覚や身体の使い方)、情緒(気持ちの表現や調整)、自己像(自分の気づき、達成感)の4領域がバランスよく育つようにサポートしてまいります。</p>		
<p>営業時間</p>	<p>10:00～17:00</p>	<p>送迎実施の有無</p>	<p>なし</p>
<p>本人支援</p>	<p>健康・生活 ・日常生活の「苦手なこと」に着目し、丁寧な関わりをもって、子供達や保護者が楽しく健やかな生活が送れるように支援してまいります。 具体的には、SST、食事の介助、トイレトレーニング等を行なっています</p> <p>運動・感覚 ・粗大運動(ボール遊びなど)、微細運動(粘土遊びなど)、感覚遊び(水遊びなど)、バランス感覚運動(ブロックなど)を取り入れることにより、運動能力や手先の巧緻性、五感の刺激、バランス感覚を養います。</p> <p>認知・行動 ・遊びを通して、注意力、記憶力、集中力、思考力、判断力などの認知機能を高め、また、楽しく遊ぶことで意欲を引き出します。 ・個別・集団療育ともに、絵本やパズル遊びを通して、文字や数、色、形などの概念、問題解決能力を養います。</p> <p>言語・コミュニケーション ・子供たちの発達段階や特性によって様々な取り組みを行なっています。言語表現が苦手なお子さんの中には、マカトン法を用いてコミュニケーションの促進を図っています。</p> <p>人間関係・社会性 ・集団療育では4人程度の少人数で一緒に遊ぶことにより社会性や協調性を育てています。 ・特に「できた！」時には、スタッフとともに喜びを分かち合うことで、自己肯定感をより高めています。</p>		

家族支援	子どもの発達に関する相談や支援、ペアレントトレーニングなどを通して、保護者様の安心感と子育てのお悩みを支援します。 特に送り迎え時や個別療育後の保護者様との情報共有を大事にしています。
移行支援	保育園や幼稚園、小学校など次のステップへの移行を円滑に進めるための支援を行います。年度によって、小学校移行に向けてのプログラムを開講することがあります。
地域支援・地域連携	地域の関係機関（保育所、幼稚園、学校、福祉施設など）と連携し、子どもの発達支援に関する情報共有や協力体制を構築しています。
職員の質の向上	積極的に外部研修に参加できるように、法人全体でバックアップする体制を整えています。また、会議、朝礼夕礼を重視し、情報共有や意思疎通を円滑にし、スタッフの一体感を高めています。